

もくじ

- ・ 授業改善の視点（国語） … 1
- ・ PC問題を解いてみよう … 2
- ・ キラ☆と輝く子どもの先生の笑顔 … 2
- ・ 日頃の研修を意識して
初任者夏季宿泊研修 … 3
初任者5年経験者研修 … 4
(3・4pは見開きでご覧下さい)
- ・ 第2回授業改善研修 … 5
- ・ 英語教育教員研修推進事業 … 5
- ・ 特別支援教育について … 6
- ・ 地域ぐるみの人権教育研修会 … 7
- ・ 共育フォーラム … 8
- ・ スポーツ大会わくわくスポーツ … 8

授業改善の視点(国語)

こんなことはありませんか。

子どもたちが学習したことはもっとたくさんあったはずなのに、振り返りの中で言葉になって出てこない…。



3つの視点で考えてみましょう。【小5「読むこと」『大造じいさんとがん』より】

1 本時でねらう子どもの姿やねらいへのせまり方を具体的にえがいてみましょう。

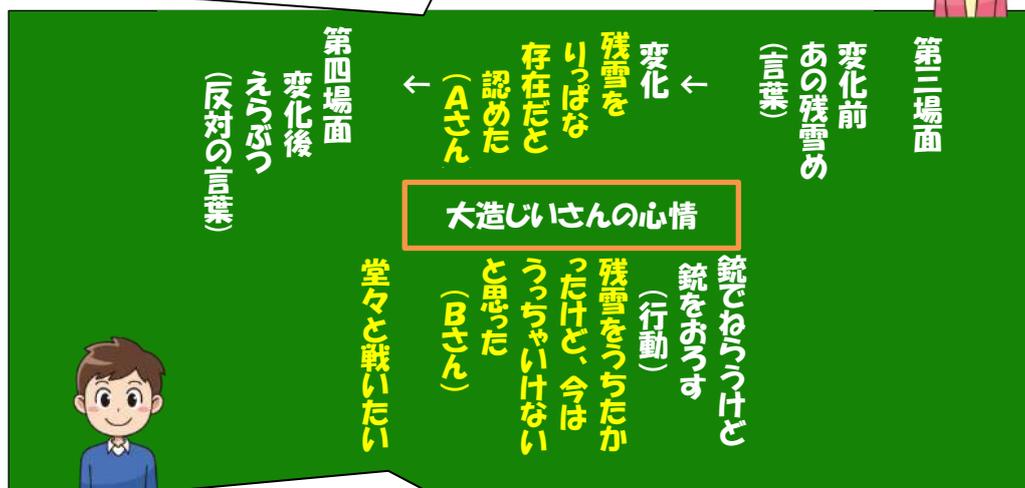
「第三場面から第四場面の大造じいさんの心情の変化について、大造じいさんの言葉や行動を結び付けて読み取ってほしい」

2 子どもが考えたことをやりとしいながら、板書等で「見える化」してみましょう。

A児1：大造じいさんは、残雪を立派な存在だと認めたんじゃないかな。

教師1：どうしてそう思ったの？

A児2：「あの残雪め」が「えらぶつ」（えらいやつだ）に変わったから。



教師2：Aさんは言葉に注目したんだね

B児1：僕は行動に注目した。第三場面の、銃でねらうけどおろすというところ。残雪をうちたかったけど、今はいけないと思った。…堂々と戦いたいのかな。

3 板書を見返しながら、追究の過程や、思考の深まりを振り返ってみましょう。

「Aさん、Bさんの考えってつながってる。言葉だけでなく、行動からも変化がわかる。私が気になった情景描写もつながりそう。」

「心情の変化は前後のちがいを比べるとわかりやすいんだ。」

授業前にえがいたねらいにそって、板書に子どもたちの考えに見えるように位置付けて、追究の過程や深まりを子どもが自覚していくことが大事なのね。



季節の花だより



「コスモス」
花言葉 “調和・謙虚”
2017/10



平成 29 年度重点目標・キーワード
生涯学習課
“学びをつなげて 人づくり 地域づくり”
学校教育課
“語り つなぐ”

忙しい毎日ですが、行事や日々の生活で輝く子どもたちの成長のために、ともに語らいましょ。事務所だよりについても、ご意見・ご感想・ご希望の記事等をお寄せください。(メール hokushin-s@pref.nagano.lg.jp まで)

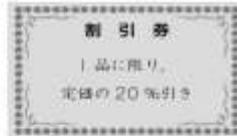
(2) ひろしさんは、下のような定価で売られているシャツ、ズボン、くつを1品ずつ買います。



ひろしさんは、右の図のような割引券を1枚もっています。その割引券には、「1品に限り、定価の20%引き」と書かれています。

シャツ、ズボン、くつのうち、どれに割引券を使うと、値引きされる金額が一番大きくなりますか。

上のアからウの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。また、その記号の商品に割引券を使うと、値引きされる金額がいちばん大きくなるわけを、言葉や式を使って書きましょう。



なんとなく くつだと思うけど、説明の仕方がわからない…。



ポイント!

- ☆説明に必要な事柄を確認するため 図や計算結果を板書する。
- ☆図や計算結果を関連付けて考え、言葉や式にまとめる場を設ける。

図を見ると、定価が上がると白い部分が大きくなっていく。



計算結果を見ると、定価に 0.2 をかけると定価が高い方が値引きされる金額も高い!

定価が変わっても、**定価×割引率=値引きされる金額**の数量関係は同じだわ! この式をもとに友だちに説明しよう!



板書

《H29 P調査問題 中学校1年 数学【3】(2)》



キラッ☆と輝く 子どもの先生の笑顔 vol.4

学校訪問で出会った「笑顔」をコラム風に紹介します。

一学期、H先生と子どもたちは、学校のまわりを歩いてまわった。その名は「トレジャーパーティー」。宝物を探す探検隊だ。地域へ出て発見してきたものや出会った人々を、教室の床いっぱい広げたい大きな地図に書き込んでいく。「笑顔」「命あふれるところ」。一人ひとりの中にある「わたしのまち」が、教室の真ん中に広げた地図を囲んで語られる。◆Aさんも、何かを思い出すように考えた。「頑張れば、景色はいいし、眺めがいい」山をどんどん登って、頑張ったあとのながめが、とてもジーンとくる。◆H先生はそれを認め、「そうだね、やまびこもできたしね」と声をかける。H先生は、Aさんが理由にあげた言葉の背景にある体験に寄り添い、同じ景色を見よう

N小学校 三年 社会科
「わたしたちのまち みんなのまち」
子どものつぶやく言葉の奥にある体験を見取り、その子が感じていることに、寄り添おうとした教師の支援が、教室を包む温かな空気を支えていた。

としていた。Aさんは、H先生の一言で、あの時の思いを先生も感じてくれていたんだという安心感や喜びを覚えることができた。◆Aさんは、今度はタイトルの横に、実際にH先生やみんなと歩いた山と坂道をイラストで描きこみ始める。それを見た隣のNさんが、「絶景がいいね。ジーンときたよね」と声をかけると、Aさんは、笑顔で大きくうなずいた。あの時、自分が感じた思いをNさんにも味わってもらえた。◆子どもたちは、語りあいながら、同じ思いを味わっていく。クラスみんなで時と場を共にし、ものや人と出会ってきたからこそ分り合える思いである。◆「巨大マップを遠くから見たら、こんなにここがいいところだとは思いませんでした。引越してきてよかったです」と語る友の横で、「私も、郵便局のSさんのようなニコニコ笑顔でいられる大人になりたい」と応えるAさん。◆思いの詰まった手作りの大きな地図を教室いっぱい広げて語り合うH先生と子どもたちの笑顔の向こうに、故郷を大切に思う温かな空気が生まれていく。◆一人ひとりの「わたしのまち」が「わたしたちのまち」になっていた。

【このエピソードからどんなことを感じましたか?】



【このエピソードから大切に考えたいこと】

- 子どもの発する言葉の背景を見取り、そこに寄り添おうとする教師の姿。
- 地域を感じ味わった先にある、故郷への思い。

日頃の研修を意識して

1. 1学期の経験を糧に、教師としての基礎・基本を学ぶ

初任研夏季宿泊研修1日目

7月31日(月)～8月4日(金)までの期間中、1泊2日の初任研夏季宿泊研修が行われました。

1日目は、「学級活動」「道徳教育」「生徒指導・保護者対応指導」「性被害防止研修」といった、基礎・基本としての全体研修が行われました。ペアやグループ活動は、視野を広げ、考えを深めていく場となりました。

「学級活動」の研修の一場面より

学級活動の目標と内容や、「折り合いをつけ、みんなで決める学級会の指導」「話し合いを通して、自分の目標を決め出す指導」といった学級活動の学習過程を学びました。また、演習では、自分の学級のあの子を思い出して、学級活動のあり方を学びました。

子どもの立場になると、あらためて見えてくることもあるな。

【演習を通して

考えてみましょう】

- 学級会を進めていく上で大切なことは？
- 子どもたちは、どんな気持ちになるでしょう。
- 話し合いの良さや難しさはどんなことでしょう。

○約束 二十字以内にする

○提案理由 有意義な研修にするため

学級会
【議題】
夏期研修の目標を決めよう



合意を図ったり、一つの文にしたりするのは結構難しい。自分はクラスでどんな手立てがうてるかな。

初任の先生方にとっては、教師としての自分を自覚するところから始まった1学期だったのではないのでしょうか。その上で受けた今回の講義や演習は、自身の姿を振り返り、今後に向けて見通しをもつ、よい機会になったことと思います。学生時代に持っていた感覚を大事にしつつも、教師としての歩みを進めていこうとする姿がありました。

2. 仲間と意見交換をする中で、切磋琢磨しながら学ぶ

初任研夏季宿泊研修2日目

2日目は、教科に分かれ、5～6人程度のグループを作って、1学期の授業の振り返りや、2学期の授業構想と教材研究を行いました。同じ初任者の立場で、互いの実践や考えから学んでいく場となりました。

【初任者の先生方の感想より】



同じ立場だからこそ、言えること、聞けることもたくさんありました。弱みも話せて、「自分だけではない」「がんばろう」と思えました。

初任の仲間とともに考えることで、自分の考えだけでなく多様な見方・考え方の中で一つの授業づくりをすることができました。



同じ立場である初任者の仲間の実践を聞いて、同じ教材でもねらいや子どもの実態によって様々な工夫が生まれることを改めて確認したり、自分が思いつかなかった授業のアイデアや子どもの見方を学んだりする中で、「同じ初任の仲間ががんばっているから自分もがんばろう！」という意識が芽生えていました。

閉会式では、「早く子どもたちに会いたい」「初任者だからということをお願いにたくない。」そんな言葉があふれていました。研修の始めの頃よりも晴れやかな表情で、やる気にあふれた姿が印象的でした。

次項と合わせ見開きでご覧下さい。

3. 世代をこえた仲間と刺激を受け合いながら学ぶ

初任研 教師力向上研修Ⅱ & 5年研 教師力向上研修

7月4日(火) 初任の先生方と5年目の先生方が、1学期に実践した教材・教具を持ち寄り、具体的な姿で語りながら、互いに学び合う研修会が行われました。



5年目 B先生

自分なりに学習カードを工夫してきましたが、子どもの反応がよかった時とあまりよくなかった時があり、どうしたらよいか迷っています。



初任 A先生

1年目、3年目、5年目の学習カードを持ってきました。自分自身の子どもや授業に対する思いによって、学習カードも変わってきました。



5年目 B先生

つけたい力を明確にしてからつくる学習カードなど、とても参考になりました。5年目の先生のお話を聞き、これから教師として成長していくための糧をいただいたような気がします。



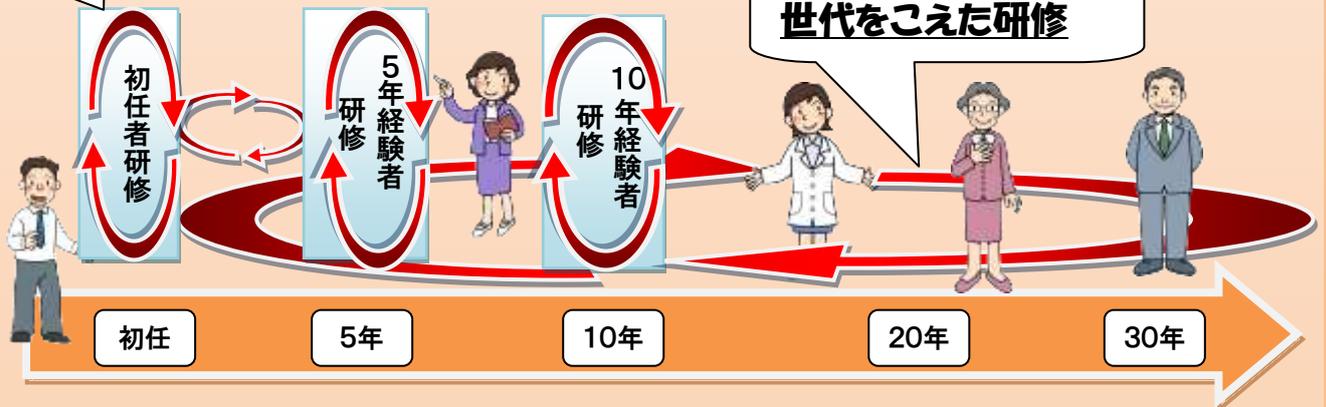
初任 A先生

初任の先生方と話せたことで、改めて教師になった頃を思い出して、またがんばろうと感じられ、心もすっきりしました。

日頃の悩みを話し、5年目の先生方から、経験や工夫を話してもらうことで、数年後の自分をイメージし、今の悩みがこれからの成長につながるのだと前向きになっていく初任の先生方。初任の先生方の初々しく希望を語る姿に数年前の自身を重ね合わせ、初心にかえる大切さを感じながら漠然と感じていた自分の成長や歩みを実感し、これからの足場にしていく5年目の先生方。双方にとって実りのある時間になりました。

同世代間や異世代間で学び合う研修を校内でも

同世代の研修



校内では、学年会や教科会で、また職員室の中で、先生方が意見交換をしながら、同世代間や異世代間で、学び合うことが多々あるかと思えます。

校外で定期的に行われる研修も大事ですが、校内で日頃行われている学び合いも、ちょっと「自己を高めよう」と意識してみることで、先生方の研修になるのではないのでしょうか。それぞれの世代のニーズに合ったテーマを意識した研修を大事にしていきましょう。

前項と合わせ見開きでご覧下さい。

求め合う場で～第2回日々の授業改善研修～

求めて集い、語らえば、見えてくる！

「第2回日々の授業改善研修」
7月28日

～初任の先生方や講師の先生方の1学期を終えての思いや悩み～

- ◆授業づくりって、何から始めたらいいのだろう…？
- ◆授業以外の仕事で手いっぱいだった。教材研究の時間が取れなかった。
- ◆やりたいことはあるのに、教科会、一人だけなので…、行き詰っていました。



語り合い

A先生「地理の授業でアフリカ州を、学習するけれど、生徒にとって遠いなあ。」
B先生「チョコレートで導入して、モノカルチャー経済について扱ったよ」
A先生「資料は、どうしてですか？」
C先生「地図帳には、資料になるグラフや主題図があるから、使えるよ。」

～研修を終えた先生方の思い～

- ◇同じ単元の他校の様子が参考になりました。一人で悩まずに、語り合うことが大切ですね。
- ◇子どもの意識を大事にできるかが、授業の面白さ、楽しさの決め手になると思います。
- ◇私自身が語り、他の先生が返してくれる。双方向の研修がとてうれしかったです。

英語教育教員研修推進事業

Let's enjoy English!!

7月31日・8月1日 長野合同庁舎にて開催

小学校中核教員養成研修・中学校英語教員指導力向上研修

Classroom Englishの表現、絵本などを含む教材開発やALTとのコミュニケーションの取り方などについて、演習を通して、参加者のスキル向上につながる充実した研修の機会となりました。

研修の後半では、少人数グループの中で、交互に先生役と児童生徒役になって、模擬授業を行い、それぞれの場面の指導のポイントを検討しました。

【参加者の感想より】

- ・実際に授業等で扱える英語がたくさんあるということを知りました。
- ・小学生にも読み聞かせできる絵本がたくさんあり、参考になりました。
- ・今まで説明が多い授業をしてしまっていたので、活動から気づくということ、今回経験させていただきました。2学期以降、授業に生かしたいと思います。



文部科学省が全国的に行っている研修事業の3年目です

- ・小学校は5年間で1度、1名の先生が代表して研修を受け、校内で伝達講習をします。
- ・中学校は5年間で1度、英語の授業を担当している先生全員が必ず研修を受けます。

※詳細は各校の教頭先生にご確認ください。

特別支援教育について

平成 29 年度 LD 等通級指導教室の増設について



よくあるご質問にQ&Aでお答えします。

Q1:LD等通級指導教室を設置する目的は何ですか？

A1 インクルーシブな教育を更に推進するため、発達障がい等により特別な教育的ニーズのあるお子さんが、通常の学級に在籍しつつ適切な教育が受けられるように、学びの場を整備し、通常の学級での支援力を向上するためです。

Q2:長野県内にLD等通級指導教室はどのくらいありますか？

A2 右下の図をご覧ください。平成 29 年度に中学校5校を含む 11 教室が設置され、全县で 35 校 39 教室になりました。それでもまだ、家庭の事情や地理的な要因などにより、利用したくてもなかなか利用できない子どもたちもいます。そこで、巡回指導やサテライト型の指導など、様々な形態も視野に入れながら、1人でも多くの子どもたちが利用できるように検討を進めているところです。

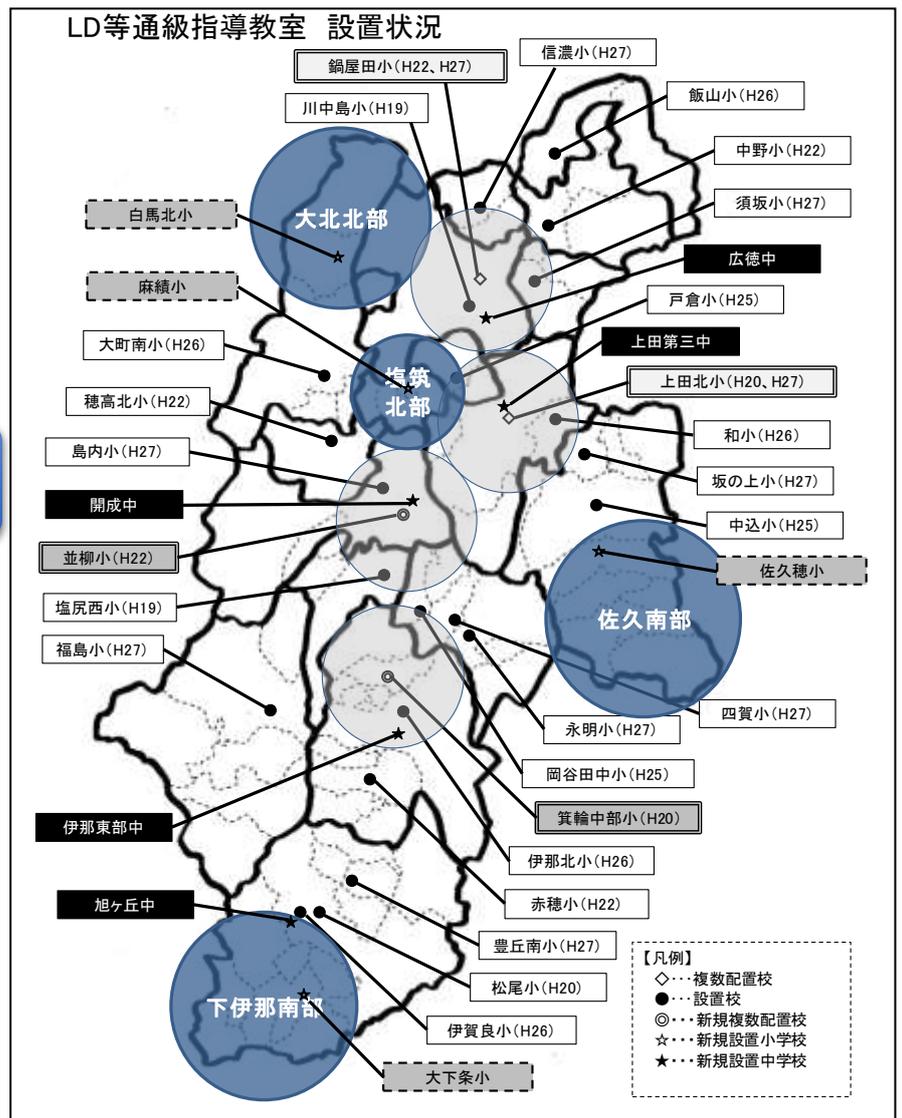
Q3:LD等通級指導教室ではどのような学習をしていますか？

A3 基本的には週に1時間から2時間程度、その子の実態に応じて個別に学習しています。

学習の内容は、障がいによる学習上または生活上の困難さを改善・克服するためのものです。具体的には、ソーシャルスキルの学習をして、対人関係や社会的技能を身に付けたり、その子に合った方法で文字の読み方や書き方を学んだりしています。

Q4:どのような効果がありますか？

A4 在籍学級の担任と連携し、LD等通級指導教室での指導内容を在籍学級の学習場面でも生かすことによって、その子が安心して在籍学級の授業に参加し、もっている力を発揮することができるようになります。そのためには、関係する職員はもちろん、周囲の子どもたちの理解がとても大切になります。



北信地区人権教育研修会を開催しました

前号に引き続き、7月14日(金)、千曲市更埴文化会館にて開催した「平成29年度北信地区人権教育研修会」の分科会の様子を参加の感想からご紹介します。

①社会福祉法人による障がい者支援の取組 **社会福祉法人いなみやま福祉会** 酒井 勇幸さん 安藤 正幸さん 利用者の方

- 正しい知識はふれあい実践がもととなると思います。稲荷山がすてきな街であるのは、地域にそのような施設があって、街の一部となっているからだろうと思いました。『支える=共に生きる』ということだと感じました。
- 実践発表の中で、利用者の生の声を聞くことができ、とてもよい内容でした。地域でのつながりの大切さを学びました。自分も地域で、障がいのある方々と一緒に活動する場をつくりたいと思いました。



②学社連携による人権同和教育の取組 **野沢温泉村立野沢温泉中学校 唐木田 美有詩さん**



- 『差別をしない』から『差別をなくす』子どもの育ちを願い、学校・家庭と行政とがどのように連携していくか、それぞれの立場の課題と現在の取組について話し合うことができ、参考になりました。結婚差別を取り上げた実践に改めて、家族をつくる大切さを考えさせられました。
- 発表者の説明で使用された資料に若年層のマイナスイメージが多いことに驚きました。そのイメージを消し去るためにも正しいことを学び続ける必要性を感じさせられました。

③共助活動に取り組む少年院出院者の取組 **NPO法人セカンドチャンス！ 才門 辰史さん**

- 才門さんの真からの言葉を聞くことができ、これから少年院での話題が出たとき、違った目で見ることができると自分がいると思います。私も「必要としてくれる大人」「思いをぶつけることのできる大人」となれるようになりたいです。
- マイナスの言葉ばかり言うような子どもとのかかわり方に疑問をもちました。才門さんの実体験を聞き、その子たちにとって、自分は最も嫌いな大人だったと分かりました。その子たちの見え方を180度変えることができました。



④企業における取組

長野労働局 雇用環境・均等室 川崎 健さん



- 『働き方改革』と言われる昨今、自社にも役立つ情報や働き方を学ぶことができました。他の職業の方との意見交換もたいへんよかったです。パワハラ、セクハラ、マタハラについての指導機関の徹底をさらにはかり、企業内での意識を高める必要があると感じました。
- 企業における人権に関する事例を交えてのお話が分かりやすく、勉強になりました。グループ討議では、他の職場の様子が分かり、たいへん参考になりました。

⑤ワークショップ「語り合い気づこう人権」

東信教育事務所生涯学習課 塩田直人さん

- 人権教育に入る前の下準備としての心をほぐすためのアイスブレイクの方法、また、「ちがいのちがい」のアクティビティーをやることで、人権問題は多岐に渡ってあることがよく分かりました。
- 様々なアイスブレイクの紹介、アクティビティーを通して実際に体験することの大切さ、忘れてはいけない大事なポイント等、これから地域のリーダーとして生かせることが学べた分科会でとても楽しく参加できました。



※来年度も7月に北信地区人権教育研修会を開催する予定です。今年度同様、来年度も社会のニーズに合わせた分科会を開設していきたいと思っております。

平成29年度「地域ぐるみの共育フォーラム」のお知らせ

◇日時 10月14日(土) 13:30~16:40

◇会場 飯山市民館

◇日程・内容

13:00 13:30 13:50 15:00 15:15 16:30 16:40

受付	開会 行事	講演	休憩	分科会	閉会 行事
----	----------	----	----	-----	----------



それぞれの学校・地域の特色、つながりを活かした信州型コミュニティスクールの取組事例をもとに、学校と地域の連携・協働のあり方を考え合います。

講演 「これからの学校と地域の連携・協働のあり方 ～信州型CSの実践を通して～」

信州型CSアドバイザー（上田市教育委員会） 伴 美佐子 さん

分科会

	分科会主題	話題提供者
①	地域と学校が共につくる更級縄文まつり	千曲市立更級小学校 教頭 飯島 稔さん
②	社会福祉協議会と連携した学校支援	長野県社会福祉協議会 地域福祉部 ボランティア振興グループ 主事 齊藤 舞さん
③	学校と公民館が連携した地域学習	須坂市立須坂小学校 教頭 金井 直樹さん 須坂市中央公民館 主事 上原 夏希さん
④	りんごっこ支援の会による学校支援	長沼小学校りんごっこ支援の会 代表 西澤 和雄さん（信州型CSアドバイザー）

（お問い合わせ先はページ下部をご覧ください）

第2回わくわくスポーツセミナーを開催します

テーマ「こころとからだを育む幼少期の運動・遊び」

～長野県版運動プログラム(幼・保・小)の実践を通して～



◇ 期 日 平成29年10月29日(日) 9:00~12:00

◇ 会 場 長野市営柳原体育館

◇ 講 師 長野県体育センター 専門主事 服部 大輔 さん

◇ 対 象 者 幼稚園・保育園・小学校関係者、部活動指導者、地域のスポーツ指導者、放課後子ども教室・児童クラブ等関係者等

◇ 受 講 料 無料

◇ 持 ち 物 運動着 ・ 運動靴 ・ タオル ・ 飲み物 等

◇ その他 開催要項・参加申込書は、各学校・園・市町村教育委員会等を通してお届けします。
(北信教育事務所ホームページにも掲載)

運動プログラムの具体的な実践方法（導入・展開等）は？

苦手な子・消極的な子どもへの支援の仕方は？

子どもの心身の発達状況をとらえた指導・支援の工夫は？

幼・保・小と学びをどのようにつなげる？

教育現場で活かせる具体的な内容をお伝えします！



問い合わせ先：北信教育事務所生涯学習課 TEL026-234-9552 Fax 026-234-9557

共育フォーラム担当(西澤)・わくわくスポーツセミナー担当(杉村)